

使用済み核燃料巡る 知事判断に申し入れ

市民団体、説明会求める

市民団体「サヨナラ原発
福井ネットワーク」と「若狭
連帯行動ネットワーク」は16
日、関西電力の使用済み核

燃料の県外搬出計画を杉本
選出知事が容認したことを
巡り、県民説明会の開催な



県の担当者申し入れ書
などを提出する市民団体
のメンバー16日、県庁

どを求める申し入れ書と公
開質問状を県に提出した。

両団体のメンバー計6人
が県庁を訪れ、県原子力安
全対策課の担当者に文書
手渡した。

申し入れ書では、関電は
年内に中間貯蔵施設の県外
計画地点を確定できないと
し、40年超運転の原発3基
の停止を求めるよう主張。

原発敷地内の乾式貯蔵施設
の設置検討は大きな政策転
換だとし、県民説明会を開
くよう求めた。

質問状は、関電が示した

県外搬出のロードマップ
(工程表)について、6項
目で県の見解をたがした。

(吉川良治)